

かごしま・人・まち・デザイン賞

■知事挨拶



本県は、南北約600キロメートルに及ぶ広大な県土の中で、桜島や錦江湾、奄美の島々などの雄大で美しい自然、知覧・出水等の武家屋敷群に見られる地域固有の歴史や文化、人々の暮らしが織り成す、多彩で豊かな景観が育まれてきました。

また、近年、九州新幹線の全線開業や高規格幹線道路の整備等により、駅周辺及び中心市街地を中心に開発が進められており、都市における景観にも大きな変化が生まれてきています。

このような状況を踏まえ、県では、これまでの「鹿児島県景観表彰」の対象に「都市デザイン部門」を加え、県内の良好な景観の形成に特に功績のあった方々を表彰することにより、県民の皆様の景観に対する関心と理解を深め、個性豊かで魅力あふれる景観の形成を推進することを目的に、「かごしま・人・まち・デザイン賞」を創設いたしました。

第1回となる今回は、景観づくり部門1件、都市デザイン部門3件を表彰いたしました。受賞された皆様に深く敬意を表します。

県としましては、今後とも、鹿児島らしい景観の形成に取り組んでまいりますので、県民の皆様の一層の御理解・御協力をお願いいたします。

終わりに、審査に当たっていただいた委員の方々並びに本賞に御応募いただいた皆様に心から感謝を申し上げます。

鹿児島県知事 伊藤 祐一郎

■委員長総括



景観づくり部門では、「与路島サンゴ石垣」について地域独自の資源をいかした景観づくりの活動として高く評価しました。都市デザイン部門では、「甲突川リバーサイドウォーク事業」、「枕崎駅舎」、「鹿児島県立奄美高校・奄美図書館」を選定しました。特に「甲突川リバーサイドウォーク事業」では、「飛び石」設置なども含む水辺空間づくり及び夜間のライトアップなど総合的な取り組みとして高く評価しました。

本賞は、鹿児島県各地域に、地域独自の優れた景観が創出されることを願って新たに創設されたものです。昨年7月開催の第1回審査委員会以降、賞の対象や募集の枠組みなどの議論から始まり、応募案件の第1次審査、第2次審査前の現地視察などをへて、本年1月の第2次審査を行いました。

審査委員会では、今後、この表彰制度の趣旨に沿って、質の高い景観づくりや都市デザインの取り組みがさらに数多く出現するように、研究会・セミナーの実施などを図るべきとの意見も出されました。今後、県内各地に質の高い個性的な景観や都市デザインの実践例が数多く誕生し、鹿児島県の新しい魅力として全国に発信できるようになることを期待します。

都市デザイナー

1964年鹿児島県立鶴丸高校卒業。
1971年早稲田大学建築学科大学院修士課程修了。同年、横浜市役所に入庁、都市デザインチームの設立に参加し、継続して都市デザイン室に所属。40年以上一貫して都市デザイン行政に取組み、現在の個性的な横浜の都市空間を形成してきた。

審査委員会委員長 国吉 直行

■本表彰の目的

かごしま・人・まち・デザイン賞は県内の良好な景観の形成に特に功績のあった方々を表彰することにより、県民の皆様方の良好な景観の形成に対する認識を高めていただき、個性豊かで魅力あふれる景観の形成を推進することを目的としています。

■表彰対象

景観づくり部門

鹿児島県内において、次のいずれかに該当する景観で、その景観を守り、育て、また、新たに創出するための活動に取り組んでいる個人又は団体とします。

- (1) 歴史的風致の維持・向上により、周囲との調和が図られたもの
- (2) 地形や植生を活かすなど、自然環境との調和が図られたもの
- (3) その他、魅力的なまちなみなど、本表彰にふさわしいと認められるもの。ただし、都市デザイン部門に該当するものは除く。

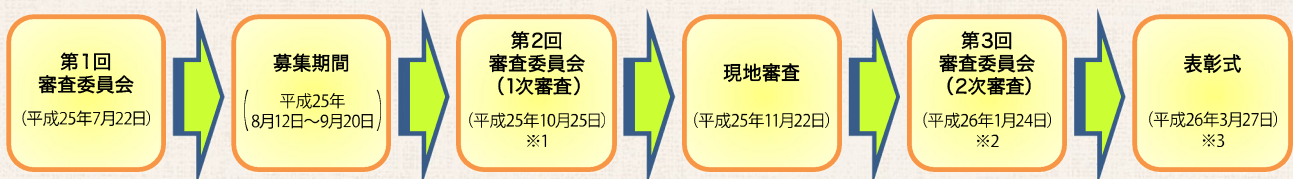
都市デザイン部門

鹿児島県内において、おおむね5年以内に造られた次のいずれかに該当する施設（建築物、工作物、橋梁、公園又は道路等）又は施設の複合したもの等で、その施設の所有者、設計者及び施工者とします。

- (1) 将来の鹿児島の模範となる都市景観やまちなみの創造に寄与しているもの
- (2) 美しくうるおいのある都市景観やまちなみを形成し、又は調和しているもの
- (3) かごしまらしい地形や自然を活かした都市景観やまちなみを形成し、又は調和しているもの
- (4) かごしまらしい歴史・文化を活かした都市景観やまちなみを形成し、又は調和しているもの
- (5) 環境や福祉への配慮等、優れた設計コンセプト等により都市の快適性を向上させているもの
- (6) その他、本県の良好な都市景観やまちなみの形成に寄与しているもの

■賞

- ・大賞（各部門1件まで）・・・各部門において最も優れたもの
- ・優秀賞（各部門2件まで）・・・「大賞」までには到達しないものの、表彰に値するもの



- ※1 応募総数「景観づくり部門」・・・4件
「都市デザイン部門」・・・54件
- ※2 選考数「景観づくり部門」・・・2件
「都市デザイン部門」・・・7件
- ※3 表彰総数「景観づくり部門」・・・1件（大賞1件）
「都市デザイン部門」・・・3件（大賞1件、優秀賞2件）

■審査委員

- | | | |
|--------|-----------------------------|------------------|
| 石田尾 博夫 | 第一工業大学 | 教授（芸術工学，経済学） |
| 梶原 知治 | 鹿児島建築まちなみ研究所 | 所長 |
| 木方 十根 | 鹿児島大学大学院 | 教授（建築学専攻） |
| 国吉 直行 | 横浜市立大学 | 特別契約教授（都市デザイン講座） |
| 田中 尚人 | 熊本大学政策創造研究教育センター | 准教授 |
| 友清 貴和 | 鹿児島大学 | 名誉教授（建築計画，地域計画） |
| 浜本 奈鼓 | 特定非営利活動法人くすの木自然館 | 代表理事 |
| 東川 美和 | NPO 法人まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会 | 事務局長（五十音順，敬称略） |